

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 ID 32 C - ストリップ(ACT)
製品コード 32200
供給者の会社名称 ビオメリュー・ジャパン株式会社
住所 東京都港区赤坂二丁目17番7号赤坂溜池タワー2階
電話番号 03-6834-2666
推奨用途 試薬
使用上の制限 推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家/化学物質専門家等の判断を仰ぐこと。

2. 危険有害性の要約
化学品のGHS分類

健康有害性 急性毒性(経口) 区分1
皮膚腐食性/刺激性 区分2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分2A
生殖細胞変異原性 区分2
生殖毒性 区分1B
上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険
危険有害性情報 H300 飲み込むと生命に危険
H315 皮膚刺激
H319 強い眼刺激
H341 遺伝性疾患のおそれの疑い
H360 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
注意書き
安全対策 使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。(P280)
応急措置 飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。
(P301+P310)
ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当てを受けること。(P308+P313)
特別な処置が必要である。(P321)
口をすすぐこと。(P330)
皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。(P332+P313)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

| 化学名又は一般名 | 濃度又は濃度範囲 | 化学式 | 官報公示整理番号 | | CAS番号 |
|----------|----------|---|----------|-----|---------|
| | | | 化審法 | 安衛法 | |
| シクロヘキシミド | 100% | C ₁₅ H ₂₃ NO 4 | (4)-295 | 既存 | 66-81-9 |

4. 応急措置

吸入した場合

気分が悪い時は、医師に連絡すること。
ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。

| | |
|---|---|
| 皮膚に付着した場合 | <p>皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。 ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。</p> |
| 眼に入った場合 | <p>特別な処置が必要である。 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合、医師の診断、手当てを受けること。 ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。</p> |
| 飲み込んだ場合 | <p>飲み込んだ場合、直ちに医師に連絡すること。 口をすすぐこと。 ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。 特別な処置が必要である。</p> |
| 5. 火災時の措置 適切な消火剤 | <p>粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素、霧状水、乾燥砂類。 棒状水。 燃焼ガスには、一酸化炭素などの有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。 消火作業は、風上から行う。 周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。 火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。 関係者以外は安全な場所に退去させる。 消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスクなど)を着用する。</p> |
| 使ってはならない消火剤 火災時の特有の危険有害性 特有の消火方法 | |
| 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 | |
| 6. 漏出時の措置 人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置 | <p>作業には、必ず保護具(手袋・眼鏡・マスクなど)を着用する。 多量の場合、人を安全な場所に退避させる。 必要に応じた換気を確保する。 漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。 漏出したものを掃き集めて紙袋またはドラムなどに回収する。 付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。</p> |
| 環境に対する注意事項 封じ込め及び浄化の方法 及び機材 二次災害の防止策 | |
| 7. 取扱い及び保管上の注意 取扱い | <p>技術的対策 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。</p> <p>安全取扱注意事項 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。</p> |

保管 接触回避 『10. 安定性及び反応性』を参照。
 安全な保管条件 『10. 安定性及び反応性』を参照。
 施錠して保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

| | 管理濃度 | 許容濃度(産衛学会) | 許容濃度(ACGIH) |
|----------|------|------------|-------------|
| シクロヘキシミド | 未設定 | 未設定 | 未設定 |

| 厚生労働大臣が定める濃度の基準 | | |
|-----------------|----------|--------------|
| | 8時間濃度基準値 | 短時間濃度基準値/天井値 |
| シクロヘキシミド | 未設定 | 未設定 |

設備対策 蒸気、ヒューム、ミストまたは粉塵が発生する場合は、局所排気装置を設置する。
 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

保護具 呼吸用保護具 必要に応じて、適切な呼吸器用保護具を着用すること。
 手の保護具 ニトリル製保護手袋を着用すること。
 眼、顔面の保護具 保護眼鏡、保護面を着用すること。
 皮膚及び身体の保護具 保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

| | |
|-------------------|-------|
| 物理状態 | 固体 |
| 形状 | 固体 |
| 色 | データなし |
| 臭い | データなし |
| 融点/凝固点 | データなし |
| 沸点又は初留点及び沸点 | データなし |
| 範囲 | |
| 可燃性 | データなし |
| 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 | データなし |
| | 下限 |
| | 上限 |
| 引火点 | データなし |
| 自然発火点 | データなし |
| 分解温度 | データなし |
| pH | データなし |
| 動粘性率 | データなし |
| 溶解度 | データなし |
| n-オクタノール/水分分配係数 | データなし |
| 蒸気圧 | データなし |
| 密度及び/又は相対密度 | データなし |
| 相対ガス密度 | データなし |
| 粒子特性 | データなし |

10. 安定性及び反応性

反応性 情報なし
 化学的安定性 通常の取扱条件において安定である。
 危険有害反応可能性 加熱すると分解し、窒素酸化物を含む有毒で腐食性のヒュームを生じる。

避けるべき条件 情報なし
 混触危険物質 情報なし
 危険有害な分解生成物 情報なし

| | | |
|--|---|--|
| 11. 有害性情報 | | |
| 急性毒性 | 経口 経皮 吸入 | 急性毒性推定値が2mg/kgのため区分1とした。 データ不足のため分類できない。 (気体) GHS定義による気体ではない。 (蒸気) データ不足のため分類できない。 (粉じん・ミスト) データ不足のため分類できない。 区分2の成分合計が100%のため、区分2とした。 眼区分2Aの成分合計が100%のため、区分2Aとした。 |
| 皮膚腐食性／皮膚刺激性 眼に対する重篤な損傷性 ／眼刺激性 呼吸器感作性 皮膚感作性 生殖細胞変異原性 発がん性 生殖毒性 | | データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。 区分2の成分が100%のため、区分2とした。 データ不足のため分類できない。 (生殖毒性) 区分1Bの成分が100%のため、区分1Bとした。 (生殖毒性・授乳影響) データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。 |
| 特定標的臓器毒性(単回 ばく露) 特定標的臓器毒性(反復 ばく露) 誤えん有害性 | | データ不足のため分類できない。 動粘性率が不明のため、分類できないとした。 |
| 12. 環境影響情報 | | |
| 生態毒性 | 水生環境有害性 短 期(急性) | (毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分 合計が0%のため、区分に該当しないとした。 毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しない から分類できないに変更。 |
| | 水生環境有害性 長 期(慢性) | (毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分 合計が0%のため、区分に該当しないとした。 毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しない から分類できないに変更。 |
| 残留性・分解性 生体蓄積性 土壌中の移動性 オゾン層への有害性 | | データなし データなし データなし データ不足のため分類できない。 |
| 13. 廃棄上の注意 | | |
| 残余廃棄物 | | 廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和な どの処理を行って危険有害性のレベルを低い状態に する。 内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門 の廃棄物処理業者に委託すること。 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに 地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去する こと。 |
| 汚染容器及び包装 | | |
| 14. 輸送上の注意 | | |
| 国際規制 | 海上規制情報 UN No. Proper Shipping Name Class Packing Group Marine Pollutant | IMOの規定に従う。 2588 その他の殺虫殺菌剤類(固体)(毒性のもの)(他に品 名が明示されているものを除く。) 6.1 Ⅱ、Ⅲ Not applicable |

| | | |
|---------------------------------|--|--|
| | Liquid Substance Transported in Bulk According to MARPOL 73/78, Annex II, the IBC Code | Not applicable |
| 国内規制 | 航空規制情報 UN No. Proper Shipping Name Class Packing Group 陸上規制 海上規制情報 国連番号 品名 クラス 容器等級 海洋汚染物質 MARPOL 73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質 航空規制情報 国連番号 品名 クラス 等級 | ICAO/IATAの規定に従う。 2588 その他の殺虫殺菌剤類(固体)(毒性のもの)(他に品名が明示されているものを除く。) 6.1 II、III 毒劇及び劇物取締法の規定に従う。 船舶安全法の規定に従う。 2588 その他の殺虫殺菌剤類(固体)(毒性のもの)(他に品名が明示されているものを除く。) 6.1 II、III 非該当 非該当 航空法の規定に従う。 2588 その他の殺虫殺菌剤類(固体)(毒性のもの)(他に品名が明示されているものを除く。) 6.1 II、III 151 |
| 緊急時応急措置指針番号 | | |
| 15. 適用法令 労働安全衛生法(令和6年4月1日以降) | | 名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号～第2号別表第9) 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2第1項、施行令第18条の2第1号～第2号別表第9) |
| 毒物及び劇物取締法 | | シクロヘキシミド(政令番号:232の2) 劇物(指定令第2条) シクロヘキシミドを含有する製剤(100%) |
| 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) | | 非該当 |
| 16. その他の情報 連絡先 | | 【Website】 http://www.biomerieux.co.jp/ 【問い合わせ先】 医療分野の方/代理店:0120-265-034 上記以外の方/代理店:0120-022-328 職場のあんぜんサイト SDS(2008-09-04) bioMérieux Package Insert(07990-I-2020-08) NITE-CHRIP(独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム) JIS Z 7253 :2019 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル, 作業場内の表示及び安全データシート(SDS) ezSDS |
| 参考文献 | | |

その他

記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、現時点における化学又は技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんので、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は、通常の取り扱いを対象としたものです。特殊な取り扱いの場合には、この点のご配慮をお願いします。

【改訂履歴】

化管法対応済 (R5.04施行分)

安衛法対応済 (R6.04施行分)

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

| | |
|----------|--|
| 化学品の名称 | ID 32 C - ストリップ(LAT) |
| 製品コード | 32200 |
| 供給者の会社名称 | バイオメジャー・ジャパン株式会社 |
| 住所 | 東京都港区赤坂二丁目17番7号赤坂溜池タワー2階 |
| 電話番号 | 03-6834-2666 |
| 推奨用途 | 試薬 |
| 使用上の制限 | 推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家/化学物質専門家等の判断を仰ぐこと。 |

2. 危険有害性の要約
化学品のGHS分類

| | |
|-------|--|
| 健康有害性 | 皮膚腐食性/刺激性 区分1 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分1 上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。 |
|-------|--|

GHSラベル要素

絵表示



| | |
|---------|--|
| 注意喚起語 | 危険 |
| 危険有害性情報 | H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷 |
| 注意書き | |
| 安全対策 | 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。(P260) 取扱い後はよく手を洗うこと。(P264) 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。(P280) |
| 応急措置 | 飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。(P301+P330+P331) 皮膚又は髪に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。(P303+P361+P353) 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338) 直ちに医師に連絡すること。(P310) 特別な処置が必要である。(P321) |

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

| 化学名又は一般名 | 濃度又は濃度範囲 | 化学式 | 官報公示整理番号 | | CAS番号 |
|----------|----------|--------|----------|-----|---------|
| | | | 化審法 | 安衛法 | |
| 乳酸 | 100% | C3H6O3 | (2)-1369 | 既存 | 50-21-5 |

4. 応急措置

吸入した場合
皮膚に付着した場合

気分が悪い時は、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合

直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
口をすすぐこと。
飲み込んだ場合、気分が悪いときは、医師に連絡すること。

5. 火災時の措置
適切な消火剤

使ってはならない消火剤
火災時の特有の危険有害性
特有の消火方法

粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素、霧状水、砂。
棒状水。
燃焼ガスには、一酸化炭素などの有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。
消火作業は、風上から行う。
周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。
火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。
関係者以外は安全な場所に退去させる。
消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスクなど)を着用する。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

6. 漏出時の措置
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

環境に対する注意事項
封じ込め及び浄化の方法及び機材
二次災害の防止策

作業には、必ず保護具(手袋・眼鏡・マスクなど)を着用する。
多量の場合、人を安全な場所に退避させる。
必要に応じた換気を確保する。
漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。
情報なし
付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意
取扱い

技術的対策

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。
取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

安全取扱注意事項

保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

保管

接触回避
安全な保管条件

粉じん、ミストを吸入しないこと。
『10. 安定性及び反応性』を参照。
『10. 安定性及び反応性』を参照。

8. ばく露防止及び保護措置

| | 管理濃度 | 許容濃度(産衛学会) | 許容濃度(ACGIH) |
|----|------|------------|-------------|
| 乳酸 | 未設定 | 未設定 | 未設定 |

| 厚生労働大臣が定める濃度の基準 | | |
|-----------------|----------|--------------|
| | 8時間濃度基準値 | 短時間濃度基準値/天井値 |
| 乳酸 | 未設定 | 未設定 |

設備対策

蒸気、ヒューム、ミストまたは粉塵が発生する場合は、局所排気装置を設置する。
取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

| | | |
|-----|------------|---------------------------|
| 保護具 | 呼吸用保護具 | 必要に応じて、適切な呼吸器用保護具を着用すること。 |
| | 手の保護具 | ニトリル製保護手袋を着用すること。 |
| | 眼、顔面の保護具 | 保護眼鏡、保護面を着用すること。 |
| | 皮膚及び身体の保護具 | 必要に応じて、適切な保護衣を着用すること。 |

9. 物理的及び化学的性質

| | |
|-----------------------|-------|
| 物理状態 | 固体 |
| 形状 | データなし |
| 色 | データなし |
| 臭い | データなし |
| 融点／凝固点 | データなし |
| 沸点又は初留点及び沸点範囲 | データなし |
| 可燃性 | データなし |
| 爆発下限界及び爆発上限 界／可燃限界 | データなし |
| | 下限 |
| | 上限 |
| 引火点 | データなし |
| 自然発火点 | データなし |
| 分解温度 | データなし |
| pH | データなし |
| 動粘性率 | データなし |
| 溶解度 | データなし |
| n-オクタノール／水分配 係数 | データなし |
| 蒸気圧 | データなし |
| 密度及び／又は相対密度 | データなし |
| 相対ガス密度 | データなし |
| 粒子特性 | データなし |

10. 安定性及び反応性

| | |
|------------|-------------------------------------|
| 反応性 | 本製品は、通常の使用、保管および輸送条件下では安定かつ非反応性である。 |
| 化学的安定性 | 通常の取扱条件において安定である。 |
| 危険有害反応可能性 | 一般的な使用条件下では、危険な反応は知られていない。 |
| 避けるべき条件 | 混触危険物質との接触。 |
| 混触危険物質 | 強塩基 |
| 危険有害な分解生成物 | 情報なし |

11. 有害性情報

| | | |
|----------------------|----|--|
| 急性毒性 | 経口 | 急性毒性推定値が3730mg/kgのため区分5とした。JIS Z 7252に採用されていないため区分5から区分に該当しないに変更。 |
| | 経皮 | データ不足のため分類できない。 |
| | 吸入 | (気体) GHS定義による気体ではない。 (蒸気) データ不足のため分類できない。 (粉じん・ミスト) データ不足のため分類できない。 |
| 皮膚腐食性／皮膚刺激性 | | 区分1の成分合計が100%のため、区分1とした。 |
| 眼に対する重篤な損傷性 ／眼刺激性 | | 眼区分1の成分合計が100%のため、区分1とした。 |
| 呼吸器感作性 | | データ不足のため分類できない。 |
| 皮膚感作性 | | 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。 |

| | | |
|--|---|--|
| 生殖細胞変異原性 発がん性 生殖毒性 | | データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。 (生殖毒性) データ不足のため分類できない。 (生殖毒性・授乳影響) データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。 |
| 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 誤えん有害性 | | データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。 動粘性率が不明のため、分類できないとした。 |
| 12. 環境影響情報 生態毒性 | 水生環境有害性 短 水生環境有害性 長 | (毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が0%のため、区分に該当しないとした。 (毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が0%のため、区分に該当しないとした。 |
| 残留性・分解性 生体蓄積性 土壤中の移動性 オゾン層への有害性 | | データなし データなし データなし データ不足のため分類できない。 |
| 13. 廃棄上の注意 残余廃棄物 | | 廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和などの処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。 内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。 |
| 汚染容器及び包装 | | |
| 14. 輸送上の注意 国際規制 | 海上規制情報 Marine Pollutant Liquid Substance Transported in Bulk According to MARPOL 73/78, Annex II, the IBC Code | 非該当 Not applicable Not applicable |
| 国内規制 | 航空規制情報 陸上規制 海上規制情報 海洋汚染物質 MARPOL 73/78 附属 書II 及びIBC コードに よるばら積み輸送さ れる液体物質 航空規制情報 | 非該当 非該当 非該当 非該当 非該当 非該当 |
| 緊急時応急措置指針番号 | | なし |
| 15. 適用法令 労働安全衛生法(令和6 年4月1日以降) | | 皮膚等障害化学物質等・皮膚刺激性有害物質(安衛則第594条の2第1項、令和4年5月31日基発0531第9号、令和5年7月4日基発0704第1号・4該当物質の一覧) |

労働安全衛生法に基づく
ラベル表示・SDS交付等
の義務対象物質(令和7
年4月1日施行予定分)

毒物及び劇物取締法
化学物質排出把握管理促
進法(PRTR法)

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条
第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9)

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条
の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)

乳酸(政令番号:1505)

非該当

非該当

16. その他の情報

連絡先

【Website】<http://www.biomerieux.co.jp/>

【問い合わせ先】

医療分野の方/代理店:0120-265-034

上記以外の方/代理店:0120-022-328

参考文献

職場のあんぜんサイト SDS(2013-02-22)

bioMérieux Package Insert(07990-I-2020-08)

NITE-CHRIP(独立行政法人 製品評価技術基盤機構
化学物質総合情報提供システム)

JIS Z 7253:2019 GHSに基づく化学品の危険有害性
情報の伝達方法-ラベル, 作業場内の表示及び安全
データシート(SDS)

その他

ezSDS

記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に
基づいて作成しておりますが、現時点における化学又
は技術に関する全ての情報が検討されているわけ
ではありませんので、いかなる保証をなすものではあり
ません。また、注意事項は、通常の取り扱いを対象と
したものです。特殊な取り扱いの場合には、この点の
ご配慮をお願いします。

【改訂履歴】

化管法対応済(R5.04施行分)

安衛法対応済(R6.04施行分)

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

| | |
|----------|--|
| 化学品の名称 | ID 32 C - ストリップ(ESC) |
| 製品コード | 32200 |
| 供給者の会社名称 | ビオメリュー・ジャパン株式会社 |
| 住所 | 東京都港区赤坂二丁目17番7号赤坂溜池タワー2階 |
| 電話番号 | 03-6834-2666 |
| 推奨用途 | 試薬 |
| 使用上の制限 | 推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家/化学物質専門家等の判断を仰ぐこと。 |

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

GHS分類に該当するデータは得られていない。

GHSラベル要素

情報なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

| 化学名又は一般名 | 濃度又は濃度範囲 | 化学式 | 官報公示整理番号 | | CAS番号 |
|-------------|----------|-----|----------|-----|-----------|
| | | | 化審法 | 安衛法 | |
| クエン酸鉄アンモニウム | 100% | 不明 | 不明 | 不明 | 1185-57-5 |

4. 応急措置

吸入した場合

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。飲み込んだ場合、気分が悪いときは、医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

周辺火災に応じて適切な消火剤を用いる。

使ってはならない消火剤

粉じんが発生している時は乾燥砂を用いる。

火災時の特有の危険有害性

情報なし

特有の消火方法

燃焼ガスには、一酸化炭素などの有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

消火作業は、風上から行う。周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。

火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。

関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスクなど)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業には、必ず保護具(手袋・眼鏡・マスクなど)を着用する。

環境に対する注意事項

多量の場合、人を安全な場所に退避させる。

必要に応じた換気を確保する。

漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。

封じ込め及び浄化の方法
及び機材
二次災害の防止策

情報なし

付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意
取扱い

技術的対策

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。
取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

保管

接触回避
安全な保管条件

『10. 安定性及び反応性』を参照。
『10. 安定性及び反応性』を参照。
換気の良い場所で保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

| | 管理濃度 | 許容濃度(産衛学会) | 許容濃度(ACGIH) |
|-------------|------|------------|-------------|
| クエン酸鉄アンモニウム | 未設定 | 未設定 | 未設定 |

| | 厚生労働大臣が定める濃度の基準 | |
|-------------|-----------------|--------------|
| | 8時間濃度基準値 | 短時間濃度基準値/天井値 |
| クエン酸鉄アンモニウム | 未設定 | 未設定 |

設備対策

蒸気、ヒューム、ミストまたは粉塵が発生する場合は、局所排気装置を設置する。
取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

保護具

呼吸用保護具

必要に応じて、適切な呼吸器用保護具を着用すること。

手の保護具

ニトリル製保護手袋を着用すること。

眼、顔面の保護具

必要に応じて、適切な眼の保護具を着用すること。

皮膚及び身体の保護具

必要に応じて、適切な保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態

固体

形状

データなし

色

データなし

臭い

データなし

融点/凝固点

データなし

沸点又は初留点及び沸点

データなし

範囲

可燃性

データなし

爆発下限界及び爆発上限
界/可燃限界

データなし

上限

データなし

引火点

データなし

自然発火点

データなし

分解温度

データなし

pH

データなし

動粘性率

データなし

溶解度

データなし

n-オクタノール/水分配

データなし

係数

蒸気圧

データなし

密度及び/又は相対密度

データなし

相対ガス密度

データなし

| | | |
|-----------------|--------------------|--|
| 粒子特性 | | データなし |
| 10. 安定性及び反応性 | | |
| 反応性 | | 情報なし |
| 化学的安定性 | | 情報なし |
| 危険有害反応可能性 | | 情報なし |
| 避けるべき条件 | | 情報なし |
| 混触危険物質 | | 情報なし |
| 危険有害な分解生成物 | | 情報なし |
| 11. 有害性情報 | | |
| 急性毒性 | 経口 経皮 吸入 | データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。 (気体) GHS定義による気体ではない。 (蒸気) データ不足のため分類できない。 (粉じん・ミスト) データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。 |
| 皮膚腐食性／皮膚刺激性 | | |
| 眼に対する重篤な損傷性 | | |
| ／眼刺激性 | | |
| 呼吸器感作性 | | データ不足のため分類できない。 |
| 皮膚感作性 | | データ不足のため分類できない。 |
| 生殖細胞変異原性 | | データ不足のため分類できない。 |
| 発がん性 | | データ不足のため分類できない。 |
| 生殖毒性 | | (生殖毒性) データ不足のため分類できない。 (生殖毒性・授乳影響) |
| 特定標的臓器毒性(単回ばく露) | | データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。 |
| 特定標的臓器毒性(反復ばく露) | | |
| 誤えん有害性 | | 動粘性率が不明のため、分類できないとした。 |
| 12. 環境影響情報 | | |
| 生態毒性 | 水生環境有害性 短 期(急性) | (毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が0%のため、区分に該当しないとした。 毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。 |
| | 水生環境有害性 長 期(慢性) | (毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が0%のため、区分に該当しないとした。 毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。 |
| 残留性・分解性 | | データなし |
| 生体蓄積性 | | データなし |
| 土壤中の移動性 | | データなし |
| オゾン層への有害性 | | データ不足のため分類できない。 |
| 13. 廃棄上の注意 | | |
| 残余廃棄物 | | 廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和などの処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。 内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。 |
| 汚染容器及び包装 | | 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 |

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意
国際規制

海上規制情報
Marine Pollutant
Liquid Substance
Transported in Bulk
According to
MARPOL 73/78,
Annex II, the IBC
Code

非該当
Not applicable
Not applicable

国内規制

航空規制情報
陸上規制
海上規制情報
海洋汚染物質
MARPOL 73/78 附属
書II 及びIBC コードに
よるばら積み輸送さ
れる液体物質

非該当
非該当
非該当
非該当
非該当

緊急時応急措置指針番号

航空規制情報
なし

15. 適用法令
労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条
第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9)

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条
の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)

鉄水溶性塩(政令番号:352)

労働安全衛生法(令和6
年4月1日以降)

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条
第1項、施行令第18条第1号～第2号別表第9)

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条
の2第1項、施行令第18条の2第1号～第2号別表
第9)

鉄水溶性塩(政令番号:352)

毒物及び劇物取締法
化学物質排出把握管理促
進法(PRTR法)

非該当
非該当

16. その他の情報
連絡先

【Website】<http://www.biomerieux.co.jp/>

【問い合わせ先】

医療分野の方/代理店:0120-265-034

上記以外の方/代理店:0120-022-328

参考文献

bioMérieux Package Insert(07990-I-2020-08)

NITE-CHRIP(独立行政法人 製品評価技術基盤機構
化学物質総合情報提供システム)

JIS Z 7253 :2019 GHSに基づく化学品の危険有害性
情報の伝達方法-ラベル, 作業場内の表示及び安全
データシート(SDS)

その他

ezSDS

記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に
基づいて作成しておりますが、現時点における化学又
は技術に関する全ての情報が検討されているわけ
ではありませんので、いかなる保証をなすものではあり
ません。また、注意事項は、通常の取り扱いを対象と
したものです。特殊な取り扱いの場合には、この点の
ご配慮をお願いします。

【改訂履歴】

化管法対応済 (R5.04施行分)

安衛法対応済 (R6.04施行分)